

I 水産物の価格動向

1 総論 ～「前年並みから高め」～

- ・「前年並みから高め」の傾向となっている。
- ・水揚量が前年並み、原料が安定している等により「前年並み」の品目が多くなっている。
- ・水揚量の減少があるものについては、水産物の価格が「高め」の傾向となっており、特にいくら、カニ類は高騰している。

2 水産物の価格の見通し

(1) 前年と比べて高い傾向にある品目（価格上昇が概ね1割を超える見通しのもの）

1	まぐろ(脂身)	良品がない為、脂がある漁場に入札が集中
2	煮ダコ	水揚量減少、為替相場変動のため
3	タラバガニ	活での出荷が順調、冷凍はエアブラ原料が少ない
4	ブラックタイガー	生産量減少の中、米国・中国の買いが強いため
5	塩ざけ	水揚量の減少
6	いくら	水揚量の減少
7	すじこ	水揚量の減少

(2) 前年と比べてやや高い傾向にある品目（価格上昇が概ね1割以下のもの）

1	サバ	水揚量少なく単価高
2	まぐろ(赤身)	メバチマグロの水揚が少ないため高騰
3	ふぐ	水温により夏場の稚魚死滅のため
4	かき	高海水温によるへい死と生育不良による原料不足のため、浜値が高騰

(3) 前年と比べて同程度の品目

1	あじ	天候に左右されるものの、水揚量は前年並み
2	ぶり(天然)	水揚量前年並み
3	ぶり(養殖)	昨年と水揚量変わらず
4	はまち	昨年と水揚量変わらず
5	まだい(天然)	水揚量前年並み
6	まだい(養殖)	数量安定のため
7	かれい	水揚量前年並み
8	まだら	水揚量前年並み
9	いか	スルメイカ中心に水揚げ量は乏しい

10	甘えび	水揚量前年並み
11	酢ダコ	北海道物は水揚前年並みであるがアフリカはやや少ない
12	数の子	在庫の繰越分があるため
13	たらこ	安定的に原料がある
14	めんたいこ	安定的に原料がある
15	かまぼこ	すり身の価格上昇により5年間に2度の値上がりがあったが昨年比較では変わらない
16	伊達巻き	すり身、玉子の価格上昇により5年間に2度の値上がりがあったが昨年比較では変わらない

(4) 前年と比べてやや安い傾向にある品目（価格下落が概ね1割以下のもの）

該当品目なし

(5) 前年と比べて安い傾向にある品目（価格下落が概ね1割を超える見通しのもの）

該当品目なし

II 野菜の価格動向

1 総論 ～全般的に「前年並みからやや高め」～

- 全般的には、「やや高めから高め」の傾向となっている。
- 露地野菜を中心に、主に西南暖地（主に九州産）が全体的に高値の予想となっている。
- 主な要因は、夏場の猛暑、10月の高温多雨の影響により、生育時の病害等の発生が多く不安定な出荷が続いている。10月、11月の高値推移から量販店においても年末もそのまま高値販売が継続される見込み。
- 物流の2024年問題により、今まで毎日運んでいたものが隔日になったり、ロットが少ないと配送効率の問題等で減らされたりなどの制限が出始めている。特に遠方の産地にその傾向が強い。

2 野菜の価格見通し

(1) 前年と比べて高い傾向にある品目（価格上昇が概ね1割を超える見通しのもの）

1	キャベツ	夏場の高温、天候不順の影響で生育にばらつきがあり出荷数量が安定しないため
2	たまねぎ	昨年に続き生育期の高温の影響で、集荷量の減少と小玉化の傾向
3	ブロッコリー	関東産が不作に加え、各産地の病害発生により出荷量が少ないため
4	ほうれんそう	夏場の高温の影響と10月の天候不良の影響による
5	ピーマン	夏場の高温により関東産の減収と西南暖地の出荷遅れにより、全体的に数量が不足するため高値で推移する予想
6	ごぼう	7～9月の生育期の天候が悪くサイズがMの細めのもの中心の出荷が多い見込み

7	里いも	埼玉県産は生育順調も他県産が不作のため出荷数量が少なく高値の見込み
8	だいこん	夏場の生育期の高温と長雨による影響で不作傾向のため、単価は高め推移の予想
9	ばれいしょ	2年続きの生育期の高温による収穫量の減少と、九州産については天候不順で作付けの遅れがあり、年末にかけての入荷は少ない見込み
10	れんこん	夏場の高温等の影響で畑でのイタミ果が増えているが数量的には微減程度だが、他品目の影響を受けて年末年始にかけて全体的に高値で推移していく予想
11	えのき	菌茸類は主に施設栽培で、この高値傾向にメーカー等の生産者も生産調整をして高値を保つ予想

(2) 前年と比べてやや高い傾向にある品目（価格上昇が概ね1割以下のもの）

1	小松菜	埼玉県産の露地物は順調出荷予想だが、茨城県産のハウス物は10月の天候不順から出荷が少なめの予想
2	春菊	他品目の単価高に相場が引っ張られてやや高めの予想
3	はくさい	関西、九州からの引き合いと他品目の単価高に引っ張られている
4	レタス	夏場の高温の影響と10月の天候不良の影響による
5	かぼちゃ	輸入品に関しては、作柄は平年並みも円安の影響で平年より高値で推移
6	きゅうり	12月上旬は前年並みの出荷予想だが、中下旬はなり疲れ（端境）で出荷減少する予想でやや高くなる見込み
7	トマト	生育期の高温等により生育にばらつきがあるため不安定な出荷予想 量販店は需要期も出荷量が安定しないためやや高めで推移する予想
8	なす	夏場の高温の影響により、入荷は前年より少なめの予想で、更に他品目の高値に引っ張られる形となり高値で推移する予想
9	くわい	台風の影響はないものの、2年続けての高温や生産者の高齢化による作付面積の減少等の影響も出てきている
10	やつがしら	作柄は良好も、生産者の減少による作付面積減少の影響が年々出てきている
11	本しめじ	主な仕入先となっているホクトの長野工場火災により、びなしめじ・舞茸・エリンギの生産に影響が及び予想で高めに推移すると予想
12	エリンギ	主な仕入先となっているホクトの長野工場火災により、びなしめじ・舞茸・エリンギの生産に影響が及び予想で高めに推移すると予想
13	舞茸	主な仕入先となっているホクトの長野工場火災により、びなしめじ・舞茸・エリンギの生産に影響が及び予想で高めに推移すると予想

(3) 前年と比べて同程度の品目

1	ねぎ	猛暑の影響の影響のため細物傾向 12月中旬より出荷が増えてくる見込みだが例年よりは少な目で推移する予想
2	さつまいも	出荷は順調で例年とあまり変わらない見込み
3	にんじん	台風等の影響はなく、各産地で豊作傾向となり年末年始にかけても出荷は順調の予想
4	三つ葉	作柄は前年並みの予想も年末年始の気温によって出荷量が左右され、単価も左右される

(4) 前年と比べてやや安い傾向にある品目（価格下落が概ね1割以下のもの）

1	生椎茸	生椎茸の需要減退により消費も減少傾向
---	-----	--------------------

(5) 前年と比べて安い傾向にある品目（価格下落が概ね1割を超える見通しのもの）

該当品目なし

III 果物の価格動向

1 総論 ～全般的に「やや高めから高め」～

- 全般的には、「やや高めから高め」の傾向となっている。
- 果実は、年々生産量の減少に歯止めがかからず、今後も単価高で推移する予想となっている。
- 次年度以降も高温障害等による生理落下などが予想されており、現在の生産地が高温で適地ではなくなってきたところも出てきている。
- 物流の2024年問題により、今まで毎日運んでいたものが隔日になったり、ロットが少ないと配送効率の問題等で減らされたりなどの制限が出始めている。特に遠方の産地にその傾向が強い。

2 果物の価格見通し

(1) 前年と比べて高い傾向にある品目（価格上昇が概ね1割を超える見通しのもの）

1	柿	高温障害、カメムシの発生等で前年比80%程度の出荷予想。 冷蔵柿について本年度は中止の予定。
2	みかん	2年連続の酷暑による高温障害、鳥獣害に加えてカメムシの発生により、出荷量が前年比50%程度の産地も散見される。

(2) 前年と比べてやや高い傾向にある品目（価格上昇が概ね1割以下のもの）

1	いちご	関東主要産地は、好天により出荷が前倒し傾向となり、需要期である年末にかけての数量の伸び悩みが予想される。九州産の年内出荷量も減少予想。競合品目の品薄の状況もあり高値で推移する傾向と予想。
2	オレンジ	オーストラリア産ネーブルを12月中・下旬まで販売、その後バレンシアオレンジに切り替える予定で、単価は前年比106%程度で推移の予想。
3	グレープフルーツ	年内はメキシコ産中心の入荷見込みで年明けよりトルコ産の入荷予定。数量はやや少なめ

4	りんご	夏期の高温障害により、出荷数量減少となっている。大玉果、小玉果と極端な作柄で今年度産の開始当初から単価高が続いていおり継続的になる予想。全体的に前年数量の80%で単価は120%。
---	-----	---

(3) 前年と比べて同程度の品目

該当品目なし

(4) 前年と比べてやや安い傾向にある品目（価格下落が概ね1割以下のもの）

1	バナナ	主要産地の入荷過多により市場は飽和状態となっている。前年に比較して他国産の種類が増加
---	-----	--

(5) 前年と比べて安い傾向にある品目（価格下落が概ね1割を超える見通しのもの）

1	レモン	年末まではチリ産が主体、入荷量前年比120%程度の予想。アメリカ産は1月中旬からのスタート予定。
---	-----	--

IV ガソリン・灯油の価格動向

- ・ガソリン・灯油ともに燃料油価格激変緩和対策事業が継続しているため、価格変動が抑制されており前年並みの価格となっている。
- ・12月19日(木)以降ガソリン等への補助率が段階的に縮小される予定のため、価格の上昇が見込まれる。

		今年の価格（対前年）	年未年始の見通し	在庫
1	ガソリン	変わらない	値上がり予想	十分にある
2	灯油	変わらない	値上がり予想	十分にある